

公民館だより

61.3
由良地区
公民館

一年間の活動を終って思うこと
館長 小松 忠 衛

「社会教育法に公民館の目的が示されている。地域の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する事業を行なうこと」

「市民の健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与すること」を目的とする。この目的達成のため由良公民館において、年間行事計画により、地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

昭和60年度行事一覧表

月	体育的行事	月	文化的行事
60.4.29	第20回由良ヶ岳登山 参加者 224名	60.7.21	無形文化財保存会 第1回自治学級 ・由良観光祭 ・空き缶ごみ対策 ・挨拶運動 出席 26名(男22、女4)
6.2	さなぶり団体対抗 ソフトボール大会 参加 4チーム	8.23	盆おどり大会 参加者 約100名
8.14	球技大会 野球優勝 1部 ソフトボール優勝 4部	9.25	史蹟研修会(出石町) 参加者 17名 うち 13名老友会
9.8	大運動会 総合優勝 3部 リレー優勝 3部	11.17	文化祭典とバザー(婦人会) 展示室入場者 300名突破
61.1.19	宮津市公民館対抗 つなぎ大会(宮津) 由良Aチーム 準優勝 由良Bチーム 3位	61.1.15	成人式 由良成人者 20名
2.16	四部対抗バレーボール大会 優勝 男子 3部 女子 3部	2.26	同和学習会 (婦人会と共催) 出席者 婦人会 35名 一般 21名
		2.2	囲碁大会 優勝 2部 (1部棄権)
		9	第2回自治学級 ・宮津市政について ・村づくりについて 出席 478名(男43、女4)
			公民館だより 年3回発行 (6月、12月、3月)

六十年度の主な行事は、別表の通りです。これらのお考に多参加していただき、皆様のお考に多参加していただき、皆様の活動が、実りある行事となり、心を通いあつた住みよい地域づくりのたが、歩みを進めることか、高度経済成長の残念ながら、由良地区においでいただき、

「公民館では、皆様方の協力をいただき、お返りいただき、お礼申し上げます。また十分とは考えておりません。」

「公民館では、皆様方の協力をいただき、お返りいただき、お礼申し上げます。また十分とは考えておりません。」

報告(一)

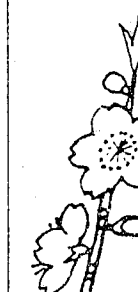
主事 平間 克己

一、文化祭(音楽の部) 協賛 由良地区公民館
ピアノ・エレクトーン発表会
日時 十一月三日(祭)午後一時より
会場 由良小学校体育館
講師 坂下文子、中西玲子、岸田美穂子(敬称略)
三才の幼児から中学生までの弟子達か、むずかしい洋曲を一生懸命演奏する姿、先生、親の配慮は真剣そのものである。願くば、もっと多くの入道に観賞して戴き、拍手を送って欲しい。

二、第六回公民館対抗囲碁大会
主催 宮津市中央公民館
日時 十一月十日(日)午前九時より
会場 吉津地区公民館
優勝 由良チーム
出場選手(敬称略)
大石俊雄、谷口省全、石井久由、中西 衛、今西秀雄、以上五名

尚、公民館対抗囲碁大会は、過去六回開催された。その中で四回優勝した。

三、文化祭(作品展及びバザー)
日時 十一月十七日(日)
午前九時より午後三時まで
会場 由良の里センター
今年から由良の里センターで、例年通り婦人会と共催のもとで開催する事になった。



何分初めての事であり、婦人会と打ち合わせ会場設営に当たった。

安柄で新鮮な野菜、おいしいうどん、ゼンざい、好評で、婦人会バザー展に人気が沸いた。それに茶席は二階の和室で、窓越しに由良ヶ岳が見え、優雅なお手前で賑わった。又、作品展も大会議室に展示した所為か、落ちついて心行くまで鑑賞し、楽しんで戴いた。

出品内容も、生花、書道、絵画等は、毎年同じように出るされても、その人の進歩の跡が伺われ、手芸は毎年新しい作品が生まれ、趣味の広さが想はれます。殊に写真展は、四方先生の作品が多かった。力作ばかりなので、立ち止まって鑑賞する人が多かったです。中でも、蛇がたぬし貝に、頭を狭まれば舌のみ死んだ様が、偶然一瞬のシャッターがとらえた珍しい写真の出品もあつた。

結果的に見ても、文化祭は由良の里センターで開催してよかったです。

四、謝家庭婦人バレーボール交換大会

日時 十一月十七日(日) 午前九時
会場 宮津中学校体育館
成績 C級優勝 由良バレーサークル
監督 浜崎利雄
選手 糸井又枝 玉垣泰子、川崎美幸、千坂則子、中西伸子、中西キク代

五、新春囲碁大会

日時 昭和六十一年一月三日(金) 午前九時
会場 老人憩の家
成績 優勝 山口肯全
準優勝 石井久由
三位 大石俊雄

六、成人式

日時 昭和六十一年一月十日(水) 午前十時
会場 宮津会館

宮津市成人対象者数 三五五人(男一五八人、女一〇七人)
由良成人式出席者数 一六八人(男七人、女一六一人)
成人式に出席された由良成人者の紹介(敬称略、50音順)

脇 有田 実 上良宏之 松本美鶴子
宮本 今西 晶 谷口貴代 中垣由美子
浜野 大垣真由美 川崎泰加 須貝有美
中西俊英 中西敬栄 野田真代
小室博嗣

尚、由良成人式出席全員と由良公民館長と交えた記念撮影をとり、又今回覧中

七、第五回京都府民トリムをつどい

市町村対抗綱引大会予選会
主催 宮津市教育委員会 外
後援 宮津市公民館連絡協議会 外
日時 昭和六十一年一月十九日(日) 午前九時
会場 宮津小学校大体育館
兼て講習会を昨年十一月二十日午後七時

由良小学校体育館で受け、今年一月十五日午後七時、由良小学校体育館で練習し、試合に臨む。由良公民館からは、二組出場。

成績 A組 準優勝
B組 三位

力戦奮闘の結果、好成績であった。

B組編成(敬称略)
監督 中西英貴 マネージャー 森本松二
選手 中西一雄 岸田幸夫 折岡和夫
泉 貞夫 中村 馨 中西隆光
岡田 武 田中昭義 山田光政
中西一義 山田博美
A組編成(敬称略)
監督 岸田 剛 マネージャー 大森章弘
選手 石田正敏 新宮鶴雄 小室哲朗
山口英介 中西 徹 矢野善記
浜崎利雄 升田栄二 岸田秀樹
藤本 守

八、同和学習会

共催 由良公民館、由良婦人会
後援 宮津市教育委員会
日時 昭和六十一年一月十六日(日) 午後一時より午後四時
会場 由良の里センター
助言者 和田敬之助先生 社会同和指導員
永吉俊清先生 社会教育指導員
堀口州興先生 社会教育係長
黒田浅江先生 婦人会副会長
受教人員 五六人(男子二人、女子三五人)

由良は同和地区がないので、

(1) 寝る子を起こすような事はするな
(2) 発言に注意しなくては、恐い事になるとの理由で反対されるのではないかと心配したが、開催して見ると、杞憂に過ぎなかつた。

和田先生の講演のおと、映画「まごころの川」を鑑賞し、分散会を男子二十一人、女子婦人会員三十五人とに分れる。

アンケートによる意見発表

(1) 一回二回の参加ではわかりかねるので、研修会を続けたい。

(2) 子供(小・中学生)に対する同和教育が、家庭でも必要。

又、アンケートに答えた三十一名中、七十パーセントの方は、今後も研修会に参加したいと答えた。由良地区の多くの人達が、差別のない明るい社会造りのため、同和学習を望んでいるのを知り感動した。

九、第五回四部対抗囲碁大会

日時 昭和六十一年二月三日(日) 午前九時
会場 由良の里センター
成績 優勝 二部チーム
準優勝 四部チーム
三位 三部チーム

今回の大会は、遺憾ながら一部選手が揃わず、残念ながら棄権の止むなきに至った。又、各部選手も互角は揃わず、四名の選手

で戦が始った。
この事は今後の課題として、由良田基ヲ
ラブも、新人養成のためにも、よく啓蒙し
て欲しい。

十、自治学級 宮津市政と村づくり

日時 昭和三十二年二月九日(日) 午後一時
会場 由良の里センター

前段市政報告 中西 孫兵衛 市議会議員

山下伊左衛門 市議会議員

(一) 新浜沖埋立、市民体育館の建設

(二) 関電工不研 敷地四十五万坪、出カ七十五万KW

(三) 宮津線問題 廃止ならは、バスが第三セク

ターを残したい。

(四) 宮福線問題 六十二年国体に利用出来るよ

ういたい。

(五) 宮津線と宮福線との関係 循環線と

する考え方もある。

(六) 行革問題 市の事業の後退と市民の

負担にならないよう努力する。

(七) 成相山のロープウェイ

(八) 議員定数問題

質問 関電からの協力金は、由良には煙

害補償として出ないか。

この件は、仮定であるので討論が出ない

ので、今後の課題である。

後段 民宿について 浜谷正雄氏より報告

現状 六十年夏 八万六千人(前年の六十四%)

原因の筑波万博 大鳴門橋イベントのため

(四) 国道一七八号線停帯
のギャンプ若者指向型
対策の交通網の整備へ近畿自動車道の早
期完成

(四) 大型イベントの誘致

右の外質問と意見

。観光協会由良支部の建て直し

。日場整備の早期完成と転作の取組

。良い話し合いをもつてもらった。今後も

是非やってみよう。

。農業と観光の一本化

。転作については、トラクター導入と、共

同利用による営農の確立

。工不研の排ガス、みかん、人体の影響に

ついて、監視組織の必要性

。若い人のスポーツ場がほしい

△山下議員△

京都・宮津までの自動車道、観光イベン

トと、道路整備に努力する。由良のイベン

トは大切にする。以上。

△中西議員△

(一) 公害の勉強会をもつたらどうか

(二) 協力の件は、地元栗田より由良の方が

近い点もあり、考えていきたい。

(三) 今回のこの様な会合は大切である。議員

の勉強にもなる。今後もお願いしたい。

(四) 道路整備の問題は、舞鶴・宮津・奥丹、

それぞれ大切な問題で、大変なことである。

以上。

。夏は海、秋はみかんの観光はあるが、春

はスポーツ観光が必要だ。そのためテニス、

バレー兼用程度のスポーツ施設が入用だ。

。由良ヶ岳登山も一時間で登れるよう道を

整備するのがよい

。人口の流出を止めるような施策が必要

。議論の場がほしい

。会議は円卓方式がよい

。道路網の改良がなければ、観光はだめ

。六十年三月の公民館日より、川崎利晴氏

の提言を読み上げ、市議会議員の協力も要

請

。何故由良ヶ岳にスキー場は出来ないのか

。芋掘り畑は出来ないのか

これでは第一回「宮津市政と村づくり」を

終るが、由良公民館は今後とも、広く皆様の

ご意見を承り、由良の活性化に尽くしたい。

土第六回四部対抗男女バレーボール大会

日時 昭和三十二年三月十六日(日) 午前九時三十分

会場 由良小学校体育館

成績 男子の部 優勝 三 部

準優勝 四 部

三位 二 部

四位 一 部

女子の部 優勝 三 部

準優勝 四 部

三位 二 部

四位 一 部

準優勝 三 部

優勝 四 部

この大会は皆に喜ばれ、期待されている
と思います。笑いと声援が交錯する明るい
雰囲気の中で、選手も一生懸命戦ってい
る。エラーも気にせず、堂々としています。
敗れても悔いなき姿は立派です。

報告 (二)

寄付 一 金 五 万 円 中 西 孫兵衛氏
一 金 五 万 円 山 下 伊左衛門氏
一 金 五 万 円 大 森 寅 一 氏

大森寅一監督表彰に輝く

昭和六十年十一月三十日、青少年育成に大
きく貢献されていることに對して、林田悠紀
夫京都府知事表彰を受けられました。
皆様もよくご存知のように、土・日曜日、
由良小学校のグラウンドから、由良少年野球ク
ラブの子供達を叱咤激励される大きな声が聞
えます。大森監督の指導による練習の始まり
です。雨や雪の日には体育館で、寒い日でも必
ずユニホーム姿が見られます。こうした厳し
い中にも温情溢れるご指導により、体力、根
性、団結心が養われ、伸びのびとした子供達
が育っています。もう十年にもなるそうですが
す。お年も七十半ば、大変なことですが子供

達は幸せです。どうぞ健康に留意されまして、今後ともよろしくお願い致します。おめでとうございました。

庄内由良からの訪問団を迎えて

四方 壽 朗

山形県鶴岡市大字由良に伝わる伝説がとりもつ縁で、昭和五十五年秋、私たち歴史をさぐる会会員五名が、庄内由良を訪れた。その時の約束が今回十六名の訪問団の来訪となつて実現した。そのきっかけとなったのが昨年八月宇津市で開かれた「全国ジュニアヨット大会」であった。庄内由良出身の佐藤精知夫氏が日本ヨット連盟理事として、この大会に参加されたのである。
庄内由良は戸数三九〇、海辺の街で、山形県最大の海水浴場で旅館、民宿、国民宿舎があり冷泉も出る。名勝八乙女浦へ遊覧船があり、蜂子皇子の伝説、背後には出羽三山といふ大きな観光地をひかえている。海水浴場の南には、防波堤に囲まれ立派な漁港があり、漁業も盛んである。世界初の波力発電実験が十年前から行われている。
とにかく実によく似た両地区である。遠く離れた親戚が一四〇〇年の歴史を経て、かた

く手を結んだのが、今回の友好会の宣言である。庄内由良の人々は、私がこれまで抱いていた東北のイメージとは違つて、実に明るく積極的で六〇〇年の距離を全く感じない気さくで接することが出来た。共に新しい日本海時代を生きる友として、今後も一層交流を深めて行きたいと思う。

丹後の由良 友好会の宣言

丹後の由良、庄内の由良は、遠く大和の時代、権力の争いから逃れた蜂子皇子が丹後の由良から乗船、日本海を北上出羽の地に上陸。ここに村人が住みつき、遠い故郷を想ひ、由良と名をつけたと伝えられ、奇縁であり、改めて祖先の行を賛え、親善と友好の關係に基づき、文化教育の交流を緊密にして友好に努力する事を誓い、ここに盟約を宣言する。
昭和六十年十一月十九日

自治連合会会長 中西 嘉重郎
鶴岡市大字由良楯下二五九
由良自治会会長 神 林 共 弥

はるばると庄内由良ゆ訪いまして、みかん黄に耀る丹後由良路を

庄内由良丹後由良浜波の秀に 蜂子皇子の古代たじよう

愛すべき歴史をもちて交われる
双つ由良ひと熱き由良ひと
由良と由良蜂子皇子に結びれて
吉き日明日への幸を願うも
ふたつ由良六百キ口を距てつつ
清き海また温泉も持てり
六〇・一一・一九 丹後由良 中西 夏江

乗車の輪 広げて守ろう 宮津線

二十歳を迎えて

中西 唯 道

二十歳を迎え、今までを振り返り返つて見れば、幼稚園に入園し、何もわからないうちに小学校、中学校、高等学校と学生生活の中で悲しい事、つらい事、淋しい事、楽しい事、思えば多くの思い出がありました。その中で学生生活も無事終えて、今では社会人の一人として働いています。

社会人と一人前に云つてはいますが、中味はまだまだ子供で分らない事ばかりです。私の会社で最初に教えられたのが、責任と云う言葉でした。今までは大人の人に何事にもおまを任せ、この日をスタート地点として色々を勉強し、第二の人生を一步一步自分自身の力で強く踏みしめて、大人の人達に遅れないよう一生懸命ついて行きたいと思つていました。良い言葉が出てきませんが、これからの私達をよろしく見守って、良きご指導をお願いします。

成人式を迎えて

大 垣 真由美

成人式を迎え、特に責任云々を思うことはありません。ただ、いつも前向きに、自分らしく、一生懸命であればいいと思つています。

二十歳になったからといって、突然大人ぶつてみたところで、周りには勿論啞然だろうし、私自身到底長続きするとは思えません。まだ自分のことさえよく解っていない私。少しづついろいろなことを考へていくうちに思うことは、やっぱり自分らしくいかに生きるか、いなに近頃、一生懸命がカッコ悪いと思われる節

があるようなのです。ちよつとやる気を出せば、何ハリキッテンの？というような。だから、ただ何となく、適当に、か多くなるのです。恐いことなのです。これは、目に見える格好悪さより、目に見えない恥すかしさをもっともつと知らなければならぬようです。たつた一度しかない自分の一生。どう生きてゆくのか、まだ見当もつかない状態だけれど、とにかく一生懸命であれば、何かわかるんじゃないかと思うのです。そしてそれが、私の望む一番の私らしさだと思ふのです。思いきり、自分らしく、生きてゆけたら……と、二十歳という岐に立ち、考えてみたりするのです。

きれいな選挙で 明るいまちを



囲碁四部対抗戦

由良囲碁同好会

今年の囲碁四部対抗試合は、二月二日(日)の午前九時から由良の里センターに於いて実施されました。昨年優勝した第一部が、前畑秋田両氏の突然の死去によりメンバーが揃わず棄権した関係上、実質的には三部対抗とい

う形で対局は開始されました。今年のメンバーは初出場の方が多く、お互いに相手を腕と口の両方で負かしてやろうという例年とは違った雰囲気の中で、順調に試合を消化いたしました。が、下馬評通り三部が強く、昼食前には優勝が決定的となりました。然しながら、各選手共気を緩めることなく碁を楽しんでうってまいりました。午後二時半頃には全試合が終了となりましたが、参加者全員が和気あいあいと語りながらうつ風景は近年に見られず、このような楽しい雰囲気の下で碁をうち続けていきたいと願っております。

碁をうっていただきますと時間がたつのを忘れ、また、憎い碁敵にもめぐり逢って生きていく喜びをひしひしと感じさせられます。

どうかみなさん、碁を知らない人や囲碁同好会に入りたいたいが躊躇している人々、どんなにお誘いして会員をふやしていきたいと考えておりますので、ご協力下さい。

今回あらたに次の方が、同好会に加入されました。

中西 吉之助、中西 保、新宮 義雄、渡辺 嘉三郎 (敬称略)

どうか我々の仲間として、何時までも碁がうてるよう頑張ってください。

最後になりましたが、来年は一部の方たちも参加して、正式な四部対抗試合が出来ますことを念願いたしております。

第六回四部対抗バレーボール大会

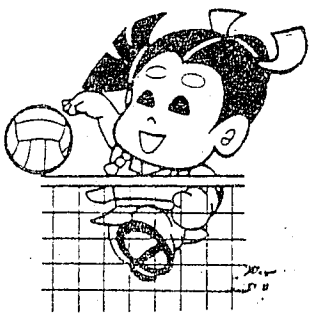
浜野路 中西 孝

今回の大会は、気楽に見物と思つていた矢先、はからずも男女チームの責任者を引き受ける破目となった。もとより素人の私には、技術的なアドバイスが出来ないし、唯如何にしてチームのムードを盛り上げ、又、怪我をしない様にと願ひながら、吹雪の中を体育館へと向つた。館内での他チームの頑ぶれは苦返りが目立つ中で、懐しい顔もあり、寒々とした外気とは対象的に早くも歓声があがり、熱気が感じられた。

わが男子チームは、出場予定メンバーの欠場が目立ち選手として出場したため、折角苦返りを計ったメンバー選考者の苦勞も水の泡、平均年齢を引き上げてしまった。試合前に男子チームには、見ている人に不快感を与えない、投げやりのなプレーだけは絶対にしてはいけない、又、女子チームには、点差を考えず思い切ったプレーをする様にとの注意を与之試合開始、一年振りに味わうボールの感触は固く重い、それにしても、気持ちとは裏腹に、身のこなしの鈍さを改めて痛感した次第である。

結果は、女子チームは前評判通り思い切ったプレーの連続で、他チームを寄せつけず見事四連覇。男子チームは、苦戦の連続であっ

たが、個々の力の劣勢を相手チームのミスに助けられ、又波に乗った感じで二年振りの優勝奪回。昨年の阪神タイガースの優勝ではないが、やはりチームがまとまった事で、実力以上の結果が生まれたものと思うし、お互いの健闘をたたえている選手の顔も満足感にあふれていた。来年の再開を約し、快い疲労を感じながら会場を後にした。外は吹雪も止み雪雲の中に青空が見えていた。



四部対抗

バレーボール大会に参加して

浜野路 吉田 あい子

雪が降りしきる寒い中で、盛大に行われたこの大会。又し振りにボールを手にする人達

が多かったのではないかと思われる中で、一つのボールを追って、年代さまさまの人達のプレーは、とてもほほえましい姿がありました。ほれほれする様なプレーや、思わず人柄がしのばれる様なプレーなど、本当に有意義な一日だったと思われれます。

チームの中で声を掛け合い、お互いにあるミスも、はげまし合ってゲームをする事で、良いチームが出来、次の機会へのつながりにもなるのだらうと思います。天候に関係なく、そして年齢も幅広く楽しむ貴重なスポーツではないかと思えました。それでも決まらずに入では出来ないし、対戦チームがあつてこそ楽しいゲームで、チームも多ければ多い程やりがいのあるスポーツだと思います。一年一回という事で。

昨年見られた顔がなくなって淋しい思いがしたり、親しい人の顔を見て親しみを感じ、ハッスル賞やユーモア賞などあげてほしい様な精いっぱいプレーがあつたこの大会が、いつまでも続きます様に……。

最後になりました。この日のために万全の準備を整えて下さった役員の方々、ご苦労様でした。カメラマンの方の写真の中には、きっと良い思い出が残っている事を期待しております。

『由良サークル』
『少林寺拳法』教室はじまる

現在、各種サークル活動が活発に行われていますが、今般、新しく「少林寺拳法」が仲間入りすることとなりました。

各地にポスターで周知させていたでいますので、多数の方々のご入会をお待ちしております。

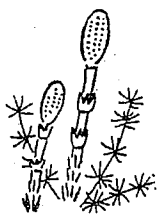
記

指導者 正拳士 四段 田中幸男
練習日 毎週月・木曜日
午後六時三十分から八時まで

対象者 小学生・中学生・高校生
一般(男女年齢不問)

後援会役員
会長 中西喜寿郎
副会長 小室文雄
会計 中西信好
幹事 山田武治
幹事 田中昭義
幹事 中西隆光

入会希望者は、後援会役員まで口答で早急に申し込み下さい。



健康シリーズ

「やぶにらみの記」③

死亡原因第一位の癌について。男女共胃癌が断然多く、男は肺、肝、食道、すい臓、直腸と続く。女は子宮、肺、肝、小腸、乳房の順である。食生活の変化や検診の普及で胃癌と子宮癌は減って来たが、反面、肺、肝臓、直腸、乳癌は増えてきた。

発癌の仕組みはまだよく分からないが、生まれつきの素質に原因物質や促進因子が関係すること。又栄養やホルモン、個人の免疫能などが癌の発病を押しやる事が明らかになってきた。癌の予防には、バランスよく何でも食べる。食べ過ぎない。酒はひか之目に。タバコは止める。適量のビタミンA(バター、牛乳、チーズ、卵、緑黄野菜)、ビタミンC(柑橘類、青い野菜)、ビタミンE(穀物の胚芽、緑黄野菜、豆)と多くの繊維質をとる。塩からい物、熱い食べ物さける。農薬や食品添加物、加工食品はなるべくさける。過労をさけ適当な運動をする。

肺癌の予防には、検診車による保健所の胸部間接撮影をもっと利用すること。又子宮癌の死亡者は六十歳台に最も多く、五十歳台、七十歳台と続くが、毎年の子宮癌検診の受診者は四十歳台が中心である。対象を婦人会より、むしろ老人会へと私は言いたい。

怖いのは

消したつもりと消えたはず

宮津市消防団由良分団

- ◎ たばこの投げ捨て
寝たばこはやめましょう
- ◎ 幼児、老人を残しての外出は
できるだけさけましょう
- ◎ ガスの元栓は使った後は
必ず閉める習慣をつけましょう
- ◎ 火を使うときは、その場を
離れないようにしましょう
- ◎ 子供に火遊びを
せつたいにさせないように
- ◎ あなたの家庭の防火は万全ですか
いざという時に備えて
消火器、水バケツを
用意しておきましょう

|| おやすみ前にもう一度点検を ||